

第4節 騒音・振動，悪臭等の防止

1 騒音の現状と対策

(1) 現状

騒音は，その物理的性質から，生活環境に影響を及ぼす範囲はかなり限定されており，また，直接に人の健康を損なうことは極めて希であるという性格から，多少の「うるささ」，「やかましき」は黙認される傾向にありました。

しかし，住宅と工場の混在が激しくなり，高速道が四方に拡がり，新幹線が走り，大型航空機が空をかけるようになって，市民生活は，工場騒音，建設作業騒音，交通騒音その他各種の騒音に取り囲まれるようになり，騒音は，公害問題のひとつとして，国が積極的な対策を打ち立て，規制を加えるべきものと位置づけられました。

現在，騒音については，環境基本法に基づき，生活環境を保全し，人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準として「騒音に係る環境基準」，「航空機騒音に係る環境基準」及び「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」について定められており，また，騒音規制法に基づき，「特定工場等から発生する騒音」及び「特定建設作業に伴って発生する騒音」などについて規制がなされています。

本県においては，平成21年3月末現在で「騒音に係る環境基準」については18市10町の地域において，「航空機騒音に係る環境基準」については鹿児島空港及び鹿屋飛行場周辺の2市の地域において，「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」については沿線5市の地域において類型指定を行っています。

また，騒音規制法に基づく「特定工場等から発生する騒音」及び「特定建設作業に伴って発生する騒音」などの規制については，県内全市町村のほぼ全域において，規制する地域の指定及び規制基準の設定がなされています。

さらに，県公害防止条例により，特定施設の騒音や飲食店等の深夜営業騒音・拡声機騒音等について規制を行っています。（資料編4－(11)(12)(13)）

① 環境基準の達成状況

平成20年度の騒音測定結果は，図1－37，表1－65のとおりです。

一般地域（道路に面する地域以外の地域）については，4市において測定がなされ，2つの時間帯（昼間・夜間）とも環境基準の基準値以下である測定地点は全測定地点の86.1%，いずれかの時間帯で基準値を超過している地点は5.6%で，2つの時間帯とも基準値を超過した地点は8.3%でした。

また，道路に面する地域については，道路端から50m以内で環境基準を達成する戸数の割合は，県が騒音を測定した地域内の全戸数のうち，2つの時間帯とも達成しているのは96.9%，昼間達成しているのは97.8%，夜間達成しているのは97.6%でした。

平成20年度に実施した鹿児島空港及び鹿屋飛行場周辺の航空機騒音の調査結果は，表1－66，表1－67のとおり，全調査地点で環境基準を達成していました。

（資料編4－(3)，資料編4－(4)）

平成20年度に実施した九州新幹線の新幹線鉄道騒音の調査結果は，表1－68，表1－69のとおりで，達成率は67%（10/15地点達成）でした。また，新幹線鉄道振動の調査結果は表1－70のとおりで，全ての地点で「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」の指針値以下でした。（資料編4－(5)，(6)）

図 1-37 騒音測定結果（平成20年度）

道路に面する地域以外の地域（一般地域）

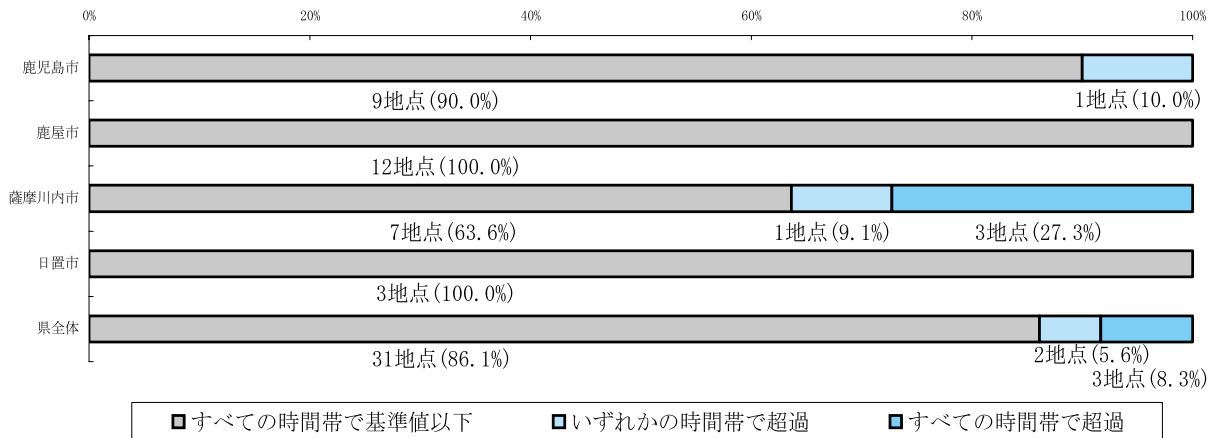


表 1-65 騒音測定結果
道路に面する地域（平成20年度自動車騒音常時監視結果）

＝県実施分＝

環境基準達成状況【達成率】														
	評価区間延長 (km)	評価区間数 (区間)	全体			近接空間			非近接空間					
			住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間
合計	30.3	15	7,184	96.9% (6,962)	97.8% (7,027)	97.6% (7,006)	2,866	93.1% (2,669)	95.1% (2,725)	94.7% (2,715)	4,318	99.4% (4,293)	99.6% (4,302)	99.4% (4,293)
道路種類別の内訳	高速自動車国道	2.8	267	100.0% (267)	100.0% (267)	100.0% (267)	115	100.0% (115)	100.0% (115)	100.0% (115)	152	100.0% (152)	100.0% (152)	100.0% (152)
	一般国道	23.1	6,379	96.5% (6,157)	97.5% (6,222)	97.2% (6,203)	2,553	92.3% (2,356)	94.5% (2,412)	94.1% (2,402)	3,826	99.3% (3,801)	99.6% (3,810)	99.3% (3,801)
	県道	4.4	538	100.0% (538)	100.0% (538)	100.0% (538)	198	100.0% (198)	100.0% (198)	100.0% (198)	340	100.0% (340)	100.0% (340)	100.0% (340)

＝鹿児島市実施分＝

環境基準達成状況【達成率】															
		評価区間延長 (km)	評価区間数 (区間)	全体			近接空間				非近接空間				
				住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間
合計		193.0	95	15,072	97.7% (14,723)	98.1% (14,787)	97.7% (14,732)	6,426	96.4% (6,196)	96.8% (6,223)	96.4% (6,196)	8,646	98.6% (8,527)	99.1% (8,564)	98.7% (8,536)
道路種類別の内訳	高速自動車国道			0	— (0)	— (0)	— (0)		—	—	—		—	—	—
	一般国道	58.0	27	4,060	95.7% (3,887)	96.1% (3,901)	95.9% (3,892)	1,852	93.0% (1,723)	93.2% (1,726)	93.0% (1,723)	2,208	98.0% (2,164)	98.5% (2,175)	98.2% (2,169)
	県道	127.6	58	8,085	97.8% (7,909)	98.4% (7,959)	97.9% (7,913)	3,205	96.8% (3,104)	97.6% (3,128)	96.8% (3,104)	4,880	98.5% (4,805)	99.0% (4,831)	98.5% (4,809)
	4車線以上の市町村道	7.4	10	2,927	100.0% (2,927)	100.0% (2,927)	100.0% (2,927)	1,369	100.0% (1,369)	100.0% (1,369)	100.0% (1,369)	1,558	100.0% (1,558)	100.0% (1,558)	100.0% (1,558)

＝県全体＝

環境基準達成状況【達成率】															
	評価 区間 延長 (km)	評価 区間 数 (区間)	全体				近接空間				非近接空間				
			住居等 戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等 戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	住居等 戸数 (戸)	昼・夜	昼間	夜間	
合計	223.3	110	22,256	97.4% (21,685)	98.0% (21,814)	97.7% (21,740)	9,292	95.4% (8,865)	96.3% (8,948)	95.9% (8,911)	12,964	98.9% (12,820)	99.2% (12,866)	99.0% (12,829)	
道路 種類 別の 内訳	高速自動車国道	2.8	1	267	100.0% (267)	100.0% (267)	100.0% (267)	115	100.0% (115)	100.0% (115)	100.0% (115)	152	100.0% (152)	100.0% (152)	100.0% (152)
	一般国道	81.1	38	10,439	96.2% (10,044)	97.0% (10,123)	96.7% (10,095)	4,405	92.6% (4,079)	93.9% (4,138)	93.6% (4,125)	6,034	98.9% (5,965)	99.2% (5,985)	98.9% (5,970)
	県道	132.0	61	8,623	98.0% (8,447)	98.5% (8,497)	98.0% (8,451)	3,403	97.0% (3,302)	97.7% (3,326)	97.0% (3,302)	5,220	98.6% (5,145)	99.1% (5,171)	98.6% (5,149)
	4車線以上の 市町村道	7.4	10	2,927	100.0% (2,927)	100.0% (2,927)	100.0% (2,927)	1,369	100.0% (1,369)	100.0% (1,369)	100.0% (1,369)	1,558	100.0% (1,558)	100.0% (1,558)	100.0% (1,558)

表 1-66 鹿児島空港航空機騒音調査結果（平成20年度）

単位：WECPNL

番 号	測 定 地 点	類型(基準)	測 定 値 (年平均)
①	霧島市溝辺町麓 2 8 8 7 - 1 0	Ⅱ (75以下)	74
②	霧島市溝辺町麓 1 0 3 1 - 2	Ⅰ (70以下)	63
③	霧島市溝辺町崎森 2 9 9 8 - 1	Ⅰ (70以下)	60
④	霧島市隼人町西光寺 2 4 0 7 - 1	Ⅱ (75以下)	67
⑤	霧島市隼人町内 1 6 7 0 - 1	Ⅱ (75以下)	68
⑥	霧島市隼人町西光寺 3 0 0 0	Ⅱ (75以下)	70



表 1-67 鹿屋飛行場航空機騒音調査結果（平成20年度）

単位：WECPNL

番 号	測 定 地 点	類型(基準)	測 定 値 (年平均)
①	鹿屋市寿 7 - 4 9 9 - 5 5	Ⅰ (70以下)	60
②	鹿屋市西原 2 - 4 2 0	Ⅰ (70以下)	61
③	鹿屋市札元 1 - 2 4 - 3	Ⅰ (70以下)	56
④	鹿屋市川東 6 9 8 2	Ⅱ (75以下)	74
⑤	鹿屋市野里 2 4 6 4 - 2	Ⅱ (75以下)	58
⑥	鹿屋市新栄町 6 4 9	Ⅱ (75以下)	63

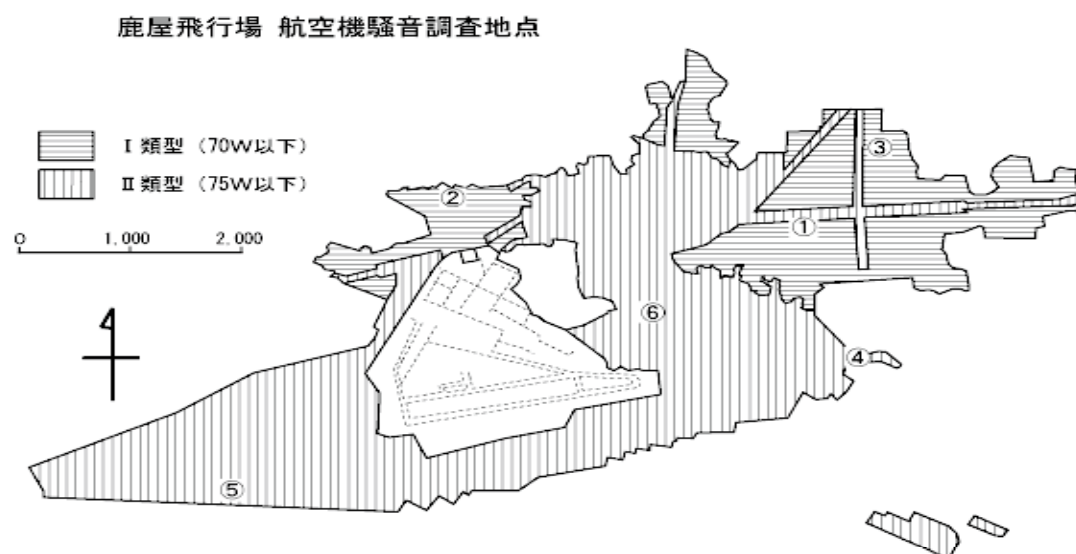


表 1-68 新幹線鉄道（九州新幹線）騒音調査結果（平成20年度） 単位：dB

番 号	測 定 地 点	類型(基準)	測 定 値
①	出水市美原町	I (70以下)	68
②	出水市麓町	I (70以下)	70
③	出水市武本	I (70以下)	66
④	薩摩川内市城上町	I (70以下)	70
⑤	薩摩川内市高城町	I (70以下)	72
⑥	薩摩川内市中郷町	II (75以下)	71
⑦	薩摩川内市平佐町	I (70以下)	63
⑧	薩摩川内市宮崎町	I (70以下)	69
⑨	いちき串木野市冠岳	I (70以下)	72
⑩	日置市東市来町養母	I (70以下)	70
⑪	日置市伊集院町下神殿	I (70以下)	72
⑫	日置市伊集院町郡	I (70以下)	72
⑬	日置市伊集院町土橋	I (70以下)	70
⑭	鹿児島市田上八丁目	I (70以下)	63
⑮	鹿児島市武二丁目	I (70以下)	71

表 1-69 新幹線鉄道（九州新幹線）騒音環境基準達成状況（平成20年度）

類型	測 定 地 点 数	環境基準達成地点数	達成率 (%)
I	1 4	9	6 4
II	1	1	1 0 0
計	1 5	1 0	6 7

表 1-70 新幹線鉄道（九州新幹線）振動調査結果（平成20年度） 単位：dB

番 号	測 定 地 点	指針値	測 定 値
①	薩摩川内市宮崎町	70以下	56
②	鹿児島市武岡一丁目	70以下	51
③	鹿児島市武二丁目	70以下	47

② 騒音に係る苦情の状況

騒音は、各種公害の中でも、日常生活に密着した問題であり、発生源も多種多様であることから、苦情也多岐にわたっています。

苦情件数の推移は、図 1-38のとおりです。平成20年度の苦情件数は128件です。発生源別では、工事・建設作業に係る苦情の割合が高く、騒音苦情全体の30%（39件）を占めています。（図 1-39）

市町村別の苦情件数は、市部で全体の98%（126件）を占め、特に鹿児島市は人口の集中度、住居の密集度を反映して、全体の55%（70件）を占めています。

図 1-38 騒音の苦情件数の推移

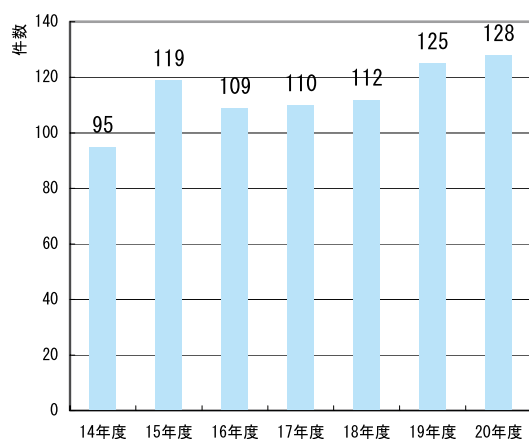
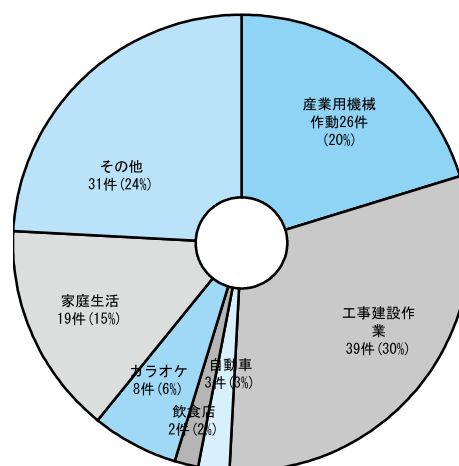


図 1-39 騒音の発生源別苦情件数



資料：公害等調整委員会 公害苦情調査